

那覇西ク女子

県総合ハンド

ハンドボールの第46回県総合選手権大会は24日、八重瀬町の東風平運動公園で、男子是那覇西クラブが28-22で沖繩クラブを破って優勝した。

那覇西ク	28	13	15	22	沖繩ク
シールズ	21	20	20	20	那覇西ク
パームヒルズ	26	25	25	21	コザ高
シールズ	21	12	12	20	那覇西ク
シールズ	9	18	8	20	那覇西ク



女子決勝 ディフェンスをかわし、シュートを打つシールズの永田志織。24日、八重瀬町の東風平運動公園。体育館(山城博明撮影)

全員で雪辱果たす

1点を争う競り合いになった女子決勝。シールズが沖繩女子リーグ(昨年10月〜1月)を「センターの勝負になる」と声制した那覇西クラブを退け、雪辱を果たした。高嶺がディフェンスを引き付けた際に、永田志が積極的にミドルシュート。ディフェンスから西銘紗貴らが速攻を決めるなど、後半、シールズは連続7得点を挙げる場面もあった。

シールズ

田小夏を中心に追い上げ、前半は同点で折り返した。女子リーグの直接対決で敗れたことが「悔しかった」と永田志。練習時間を増やし、スタミナのある高校生を交えて脚力を鍛えてきた。選手を兼ねる高嶺がおる監督(宮里登)

男子決勝 積極的にシュートを放つ那覇西クラブの喜友名正太



守り修正奏功 那覇西クラブ

男子的那覇西クラブは前半、前が出る積極的な守りがうまく機能していないのを見て修正。ラインを下げてゴール前を固め、守りから攻撃のリズムをつくった。

エースの喜友名正太は「最初、ボールを回すことを考えて空回りしてい

た」といい、前半は1得点。「ディフェンスを頑張って気持ちを切り替えた」という後半は積極的にシュートを打ち、5得点と活躍した。

選手としてもチームを引っ張った比嘉律監督は「ここまできたら気持ちの勝負。攻撃のリズムが悪かったが、気持ちをコントロールしながら戦っていた」と話し、試合の中で修正しながらつかみ取った勝利を振り返った。